

## 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

### 1. 研究課題名

当院におけるグリニドの処方状況と課題

### 2. 研究の対象患者

2016年4月から2017年3月において、2型糖尿病で20歳以上の方のうち、次の(1)から(3)それぞれに該当する患者さん。(1)当院常勤の糖尿病専門医2名、非常勤の同医2名によってグリニド薬が処方された患者、(2)大西医師の糖尿病外来においてレパグリニド処方内容が1年間を通じて変わらなかった患者、(3)当院救急外来で測定された血糖が70mg/dl未満の65歳以上の患者

### 3. 研究の対象期間

2016年4月1日～2017年3月31日

### 4. 研究の概要

当院は100万人診療圏を有し、周囲の糖尿病状況は悪く、周辺に常勤の糖尿病専門医は2名と糖尿病医療資源も少なく、当院の糖尿病外来には重症糖尿病患者が集中している。近年の糖尿病治療は多岐にわたり、多くの薬剤も使用できるようになった一方で、高齢化に伴い高齢者のポリファーマシーや薬剤性低血糖が危惧されており課題は色々と多い。近年、糖尿病内服薬であるグリニド薬は超速効型インスリンの代用として注目されており、なかでもインスリンの手技が困難な高齢者にとって有用である。一方でグリニド薬は2017年に発表された高齢者糖尿病ガイドラインにおいてはインスリンと同様に低血糖を起こす可能性の高い薬とされており、また各食前に内服する必要性がありそのアドヒアランスが低いことが報告されている。当院におけるグリニド薬の処方状況やアドヒアランス、薬剤性低血糖などの現状・改題について検討する。

### 5. 研究実施予定期間

2018年1月17日～2018年5月31日

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者識別コード、性別、年齢、手持ち薬の余りの有無によるグリニド薬のアドヒアランス、薬剤性低血糖を生じた際の併用薬剤やグリニド薬接種前の食事状況

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

- (連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院
- ・研究責任者：糖尿病代謝内科 大西 俊一郎
  - ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)